別記様式第２号　別添５ 事業の成果目標（商品別）の記載の注意点

①「食品・商品名」は、その他の提出書類（事業計画書や商品規格書等）と整合するように、全体を通して名称や表記を揃えてください。また、商品規格書等のファイル名にも商品名の記載をお願いします。

②「切替前」・「目標」の原材料の量や価格は、想定の使用期間を統一して記入してください。次頁の図を参考にしてください。

別記様式第２号　別添５

令和５年度　食品原材料調達リスク軽減対策事業

事業の成果目標（商品別）

商品ごとに原材料切替量又は国産原材料の取扱量の増加分と金額を記載してください。

事業実施期間に使用すると想定される量を、財務省貿易統計のHSコードに準ずる単位を用いて示してください。（MT、KG、KL、L等。ケースや箱は不可。）

【注意事項】・輸入原材料の使用量が客観的にわかる資料の添付が必要です。（必要な書類は公募要領参照）

	切　替　前　（事業実施前）								⇒	★目標★　国産切替後又は国産取扱量増加後（事業実施後）							
取組区分	食品・商品名	切替等を行う対象原材料	産地国名	現在の輸入原材料と国産原材料の使用割合	（検算用）	原材料の量	量の単位	原材料の価格税抜金額（円）	⇒	食品・商品名	切替後原料	産地国名	事業終了時点での切替量比率※ 切替を行わない部分も含め、各原料の合計が100%になるように記入	（検算用）	原材料の量	量の単位	原材料の価格税抜金額（円）
（例）取組Ａ	食パン	小麦	アメリカ	90%	100%	900	KG	9,000,000	⇒	国産小麦使用の食パン	小麦	アメリカ	70%	100%	700	KG	7,000,000
		小麦	日本	10%		100	KG	1,000,000			小麦	日本	30%		300	KG	3,000,000
							KG									KG	
（例）取組Ｂ	食パン	小麦	アメリカ	100%	100%	1,000	KG	1,000,000	⇒	国産小麦100%使用の食パン	小麦	日本	100%	100%	1,000	KG	1,000,000

事業計画書や商品規格書等と整合するように、名称や表記を揃える

想定の使用期間を統一する（次頁参照）

原材料の量・価格の算出方法について

まず「目標」の算出期間を決めてから、同じ期間を「切替前」に当てはめて原材料の量や価格を算出する、という考え方で試算してください。

事業実施後
(設備導入の場合、
本稼働・生産開始の日)

各事業者の事業完了日
(令和7年2月13日より
以前の日)

目標（事業実施後）

この期間内で使用が想定される対象原材料の量や価格を算出

「★目標★　国産切替後又は国産取扱量増加後（事業実施後）」の欄に記入

★目標★　国産切替後又は国産取扱量増加後（事業実施後）							
食品・商品名	切替後原料	産地国名	事業終了時点での切替量比率※ 切替を行わない部分も含め、各原料の合計が100%になるように記入	（検算用）	原材料の量	量の単位	原材料の価格 税抜金額（円）
国産小麦使用の食パン	小麦	アメリカ	70%	100%	700	KG	7,000,000
	小麦	日本	30%		300	KG	3,000,000
						KG	
国産小麦100%使用の食パン	小麦	日本	100%	100%	1,000	KG	1,000,000

同じ期間で、仮に本事業の取組を行わず、
原材料の切替もせずに現状維持のまま
製造した場合の対象原材料の量や価格を想定して算出

切替前（事業実施前）

「切替前（事業実施前）」の欄に記入

	切　替　前　（事業実施前）							
取組区分	食品・商品名	切替等を行う対象原材料	産地国名	現在の輸入原材料と国産原材料の使用割合	（検算用）	原材料の量	量の単位	原材料の価格 税抜金額（円）
（例）取組A	食パン	小麦	アメリカ	90%	100%	900	KG	9,000,000
		小麦	日本	10%		100	KG	1,000,000
							KG	
（例）取組B	食パン	小麦	アメリカ	100%	100%	1,000	KG	1,000,000

別記様式第２号　別添６　事業の成果目標（原料別）の記載の注意点

令和6年度の目標・実績は別添5に記載いただいた期間の取扱量の合計を記載してください。その他の年度は1年分を記載ください。

事業の成果目標（原料別）

原料の品目ごとに切替量又は増加させる国産原材料の取扱量を、自社全体での取扱分と本事業分で分けて記載してください。
量の単位はMT、KG、KL、L等でご記載ください。（ケースや箱は不可。）

取組区分	切替後原料	産地国名	項目	≪実績≫ 令和５年度（量）	【目標】 令和６年度（量）	≪実績≫ 令和６年度（量） 事業終了後の実績報告時に記載	【目標】 令和７年度（量）	【目標】 令和８年度（量）	量の単位 MT、KG、KL、L等
（例）取組Ａ	小麦	日本	本事業での取扱量	100	300		1,100	1,500	KG
			自社全体での取扱量	2,000	2,000		2,400	2,600	
			割　　合	5.0%	15.0%	#DIV/0!	45.8%	57.7%	
（例）取組Ｂ	小麦	日本	本事業での取扱量	0	1,000		1,200	1,500	KG
			自社全体での取扱量	2,000	2,000		2,400	2,600	
			割　　合	0.0%	50.0%	#DIV/0!	50.0%	57.7%	
									KG

1年分の想定取扱量を記載してください。

本事業対象製品に関わらず、自社全体の取扱量を記載してください。

別添5に記載した期間の取扱量を記載してください。

事業計画書、別添5と、表記単位は全て統一してください。
関連する別の提出資料とも、できる限り単位は統一するようにお願いします。
別資料との単位統一が難しい場合は、本様式の欄外などに換算の計算方法を記載いただけますと助かります。